

21-2 男女共同参画推進専門委員会議事概要

日時 平成21年6月23日(火)9:15～10:25

場所 総合研究棟Ⅱ 第2会議室

出席者 後藤理事、小川学長補佐

江成、中島、大西、富田、松村、門脇、花見、石阪、水落、中西（途中退席）、鈴山

◎ 議事に先立ち後藤理事から、6月1日付けで交替し新たに委員となった門脇委員の紹介及び本日の資料の確認を行った。

◎ 前回議事メモの確認

後藤理事から、事前にE-mailで確認した21-1男女共同参画推進専門委員会議事概要については、配付資料のとおり記録にとどめた旨の報告があり、了承された。

◎ 本学における男女共同参画の現状分析

鈴山コーディネーターから、本学における男女共同参画推進のこれまでの取り組み及び現状について、「資料1」に基づき説明があった。なお、「三重大学の動き」についてはホームページを基に作成したものであるため、記載されているもの以外の事項があれば教えていただきたい。

◇主な意見

- 本学の教員数についての職階別・性別毎の人数を調査してもらったが、全学的な状況を把握する意味から事務職員についても調査する必要がある。
- 国は、2020年までに指導的地位（課長級）に女性が占める割合が少なくとも30%程度になるよう呼びかけているが、本学は課長補佐級もいないので、今後、力を入れて行かなくてはならない課題である。
- 今後の問題ではあるが、大学として「管理職」をどのあたりに設定するのか、事前にコンセンサスをとる必要がある。他の市町村もまだまだ指導的地位の女性は数少なく、室長（係長級）以上を管理職として設定し、カウントする事例もある。

I 検討事項

1. アンケート（男女共同参画に係る意識調査（仮称））について（資料2）

鈴山コーディネーター、大西教授、江成准教授から、「資料2」に基づき、平成19年度アンケートをベースとした調査項目等の各ワーキンググループにおける検討内容について、それぞれ説明があった。

今後の計画として、7月14日の本委員会にてアンケート（案）を完成させ、男女共同参画推進委員会（7月15日開催予定）にて了承いただき、業者に発注して7月中にアンケートを実施することとした。

◇主な意見

- 看護職員が正規職員で働き続けるために、夜間保育は必要と考えられる。
- 保育については、対象を看護師や教員に限定して調査することについても、今後検討する必要がある。

2. その他（資料3）

後藤理事から、本学の男女共同参画宣言・基本方針を実施するための計画を作成し学内に示す旨について、「資料3」に基づき説明があった。

II 報告事項

1. その他

①次回開催日

7月14日（火）9：15～

以 上